

陸軍星章とペンタクル

會員 村山辨次氏 講演

最近流行の言葉で申しますならば「星と兵隊」とでも申しませうか、今晚はかねて研究調査をして居りました「陸軍星章の由來」に就て、而もそれが安倍晴明の紋やペンタクルに色々と興味ある連關を持つて居りますので、その事に就てお話しして見たいと思ひます。

我が陸軍の徽章は普通「星章」と呼ばれるのでありますが、この星章と云ふ言葉の由來に何か天文に關係するものがあるのではないかと、私は考へました。陸軍省のさる人を介して調べて頂いた所によりますと、陸軍に星章の制定せられましたのは明治六年十月十八日の事となつて居りまして、之に先き立つ明治三年十二月に陸海軍共に軍帽の制定があり、その當時の徽章は大體旭日章の様な形になつて居りました。その選定には今の原田熊雄男の祖父君原田一道翁があたられたのであります。星章の由來に就ては、本省でも確かな記録はないのでありまして、或る人の所説では、あれは星を象どつたものではなく、我が國華たる櫻花が爛漫と咲き誇つて居る時は、生氣潑刺朝日に匂ふ美しさあり、散る時は一夜の嵐に潔く散り、萼のみとなれば複郁たる香氣を放つ、之を象徴して櫻花の萼の形を選んだのであると申します。之は我々日本人としては誠に首肯す可き所説であると思ひますが、事實は矢張り天體に關係してゐるものらしく思はれます。即ち、古來の戦記文中に「兜の星を輝かし」とか「綺羅星の如し」とか「星の位も三臺の」とかの句のある事から見ましても軍帽の徽章を星と解するのは強ち不當ではないやうであります。ついでありますが、近衛師團の帽章は之の星に更に大和魂の象徴として櫻花を配したものでありまして、明治三十八年七月の制定であります。一説に、之は京都御所紫宸殿階側の左近の櫻に因んだもので、禁裡御守護の意を表はすとも申され、制定當時は星の上に金の御紋章を附す可しなど云ふ意見もあつたさうであります。

又海軍の徽章は英國海軍の模倣に出で、櫻花を配したのは、近衛の徽章と同様、大和魂を象徴したもので、制定は明治五年二月二十七日であります。又、滿洲國軍の帽章は、大同元年（昭和七年）十二月二十八日の制定で、五色星章

(青赤白黒黄)と云ふ、流石に支那の古代思想が隠然として表現せられたもので、之は五行説に發因し、青色は東方木性、赤色は南方火性、白色は西方金性、黒(紫)色は北方水性、黄色は中央土性をあらはして居ります。その形状は我が星章と同様で、第1圖の如く色彩られて居ります。黄色は中央で、四方を統治する意を表はすのであります。

話は元に戻りまして、再び我が陸軍の帽章であります。實は之の星形と一見酷似したもの(第4圖)が圓頂に見られるのでありまして、之は現在の禮裝帽に於て皆様のよく御承知の事と存じます。興味あります事は、明治十年西南之役の際、谷中將以下幕僚の記念撮影に見られます帽の圓頂には、この印(第4圖)が、階級により、その數を異にして居ります。即ち、この寫眞に見る如くでありまして(寫眞略、第2圖参照)、寫眞だけでは十分判りませんが、將官、佐官、尉官になるにつれ、減少するものらしく思はれます。

さてこの第4圖にある Hexagram (即ち籠目又は六芒星形)は紋章學上魔除けを意味するものでありまして、シヤムでは魔除けの籠目を、田畑中に、日本の案山子然と立てる風習がありますし(瀧澤氏談)、淺草には魔除けの籠を賣つて居りますし。又、九州宮崎の八幡宮では神社より籠を頂いて之に海の砂を持ち歸る風習がありますが、之も魔除けを意味した行事であります。

第2圖に似たものに Pentacle (又は Pentagram) (第3圖)があります。之も紋章學上魔除けを意味するものとして非常に有名であります。之らのことは Standard Dictionary にも記されて居ります。即ち、

Pentacle.—A figure composed of five straight lines making a star that includes a pentagon; Pentagram—It occurs on old Greek coins, was used by Pythagoreans and others as a symbol of perfection or of the universe was placed by medieval astrologers at the beginning of their letters as a symbol of health, and come into use as a popular doormark to keep out witches.

Pentacle is also called pentalph, it often confused with the hexagram composed of two equilateral triangles which was also used as a magic symbol in astrology, alchemy and cahalistic lore. In magic a circle containing certain figures and symbols, either engraved on a metal belonging to a planet, as

iron for Mars, gold for the Sun etc, or depicted in a color presenting such metal, used in divination, conjuration etc.

The holy pentacles or medals numbered 44, of which 7 were consecrated to Saturn, Jüpiter, Mars and the Sun 5 each to Venus and Mercury and 6 to the moon.

かくも magic 的に意味のあるペンタクルやヘキサグラムが陸軍の帽や徽章に見られるのでありまして、非常に面白い事だと思ひます。此處で念の爲に申し添へますが、ペンタクルやヘキサグラムの正しい書方は第3圖、第4圖の如くでなければなりません。

最後に、疫病除けの民間信仰として、我國に古くから「蘇民將來の信仰」がありますが、之が又屢々 Pentacle と（更に Hexagram とも）結びついてゐるのであります。

備後風土記に、素盞鳴尊通南海神女時、日暮借宿于巨且將來不許、借其兄蘇民將來許之、尊大喜欲報之、後爲行役神、人多死、令蘇民及子孫帶茅輪、稱曰蘇民將來子孫、乃免疫死。

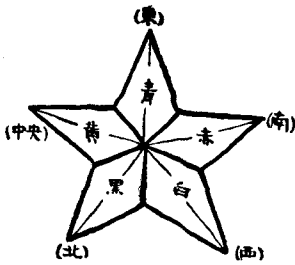
とある。之より、素盞鳴尊は疫病治癒の神として祀られ、又「蘇民將來」なる文字の入つた護符が疫病除けとして用ひらるゝやうになつた。

即ち、長野縣小縣郡國分寺では、天平時代より今に至るまで毎年正月八日、白樺で製した六角形の塔形で赤青星の色彩を施した護符が頒布され、之に「大福長者蘇民將來之子孫也」の文字を一面に二字宛書いて驅邪招福の爲め幼童の腰に下げる風習がありますが、この護符の錐狀部及柱狀部に例の籠目が見られるのでありまして、この場合、護符はいはゞ二重に魔除けの意味を持つてゐるわけであります。（第5圖）

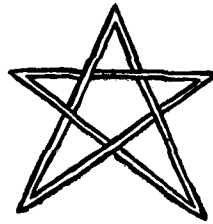
又、山形縣南置賜郡南原村笹野の笹野彫は、之と殆ど同等のものでありますが、圖示の如く八角柱であり、各面に一字宛、「蘇民將來之子孫也」の文字が記され、特殊な切り込みがあり、又その底面に亦ペンタクルが見られます。（第6圖）

又、愛知縣名古屋市天王寺崎町洲崎神社で毎年節分の夜之に類した護符が頒布せられます。國分寺や笹野のは大小種々ありますが、此處のは長さ二寸五分、

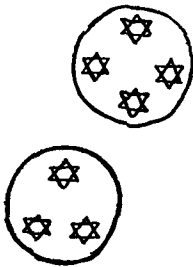
第一圖



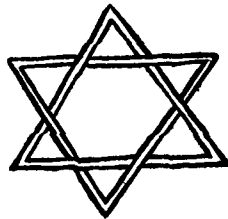
第三圖



第二圖



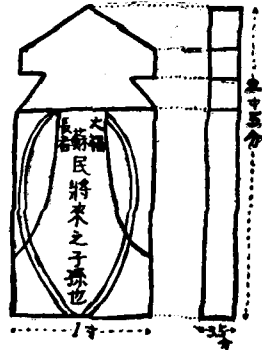
第四圖



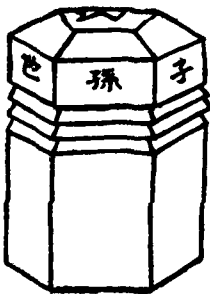
第五圖



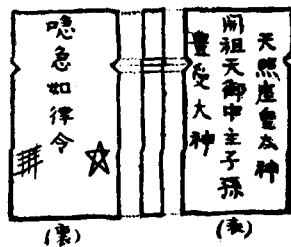
第七圖



第六圖



第八圖



幅一寸、厚さ三分五厘の一定の杉板に「蘇民將來之子孫也」と書かれてありまして、色彩は朱と黒で、形状は言はゞ前二者の平面化されたものであります。之にも朱線の籬目が見られます。(第7圖)

又、「神都」伊勢では毎年正月繪馬形の板に墨黒々と「大福長者……子孫也」(後世變化したものは、「開祖天御主神子孫也」とも)書きつけて、その上に七五三繩を引廻し、門前に掲げるを風習として居りますが、之にもペンタクルや籬目が見られるのであります。(第8圖)

以上は、ペンタクルと魔除けの風習に関するものであります。更に興味深い事はペンタクルが陰陽道の安倍晴明の家紋である事であります。此紋は紋章學上「晴明桔梗」と呼ばれるもので(沼田氏紋章學)、京都の晴明神社に於ても之が紋に用ひられて居ります。

又、數學史上有名なギリシヤのピタゴラスは“黄金分割法”を案出し、之を記念象徴して、當時彼等の學堂の入口並びに學徒の徽章として、此のマーク、即ちペンタクルを用ひたと云ふ話があります。ピタゴラスのこの徽章と晴明桔梗との間にどんな因縁があるか判りませんが、「ピタゴラス數學」がアジャに始まるのではないかと云ふ説もあるのですから、今後更に興味ある事實に出會ふかも知れません。(瀧澤氏談)

話題が多岐多様で、甚だまとまりないものとなりましたが、之で私の講演を終る事とします。

〔附記〕村山先生のこの御講演は去8月11日でしたが、途中より神戸高工教授瀧澤眞了氏を加へ座談會に移行し、その大要をまとめる可くつとめましたので、變なものになりましたが、村山先生始め各位の御諒承をお願いしたいと思います。(文責在乾久朗)

前(八月號)誤植正誤表

頁	行	誤	正
英文目次	4	Seleting	Selecting
299	15	中度	中緯度
313	14	星座 γ	魚星座 γ